

六月例会 御案内

〔平成三十年・通算第六八六回〕

公益財団法人 協和協会

○ 御案内

六月二十五日(月)十一時半入館可、正午～午後二時半 衆議院第一議員会館地下一階第五会議室

講師 金正恩の力量?と、日本の今後の対応!

◎ 世界が注目した米朝首脳会談は、六月十二日と決まったあと、トランプ大統領が突如中止を表明したが、金正恩委員長からの親書に感動した大統領が、再び予定通りの開会を宣言し、デイール(駆け引き)に長けるトランプ大統領が優位と見られていたのに、いざ、シンガポールでの会談が始まると、テレビ中継でも、親子以上に歳の若い金正恩委員長が中々の対応を見せていた。会談後の世界の報道では、トランプ大統領が事前には、北朝鮮の非核化につき、「完全に検証可能で、かつ不可逆的な非核化(CVID)を譲らない」と言っていたのに、その共同声明では単に「完全な非核化」と言うに留まり、その非核化も「できる限り早い時期に」として余り強制力が感じられず、また、日本が切望していた「拉致家族の返還」も共同声明に盛り込まれず、ただ、北朝鮮の主張する「体制の安全保障」が目立った。そこで、そうした「金正恩の力量」と日本がどう対応してゆくか、重村智計先生に御講話をいただきます。奮っての御参加を!

□ 当日会費(昼食付き) 会員は三千円、非会員五千円。

公益財団法人 協和協会 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

六月二十五日(月)の月例会に

電話 03-3581-1192
FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに○印を)

御芳名

貴方様の FAX
メール

当日連絡先 080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

(メール不可・通話のみ)

▽六月二十一日(木)までに欠席の御連絡賜りたく。

◎ 御報告

去る五月三十一日の月例会は、「トランプ政策と米国の政治・経済・社会状況!」と題して、米国在住の加瀬みき先生(アメリカン・エンタープライズ政策研究所客員研究員として活躍中)に御講話いただきました。

というのは、トランプ大統領は当初、アメリカファーストを宣言し、ほとんど纏まりつつあったTPPからも脱退して、戦前の孤立主義に閉じこもるかのように見えたが、その後、アメリカ大使館をシリアからエルサレムへ移すと宣言して、ともかく納まっていた中東に紛争を生じさせたり、シリアの政府軍とロシアの空軍基地へミサイルを数十発撃ち込むなど、むしろ、国際社会へ積極介入している。

アメリカからの報道も、トランプ大統領が閣僚やCIA長官や側近の首のすげ替えや、ロシア疑惑をセンセーショナルに報道するなど、アメリカ国民がどう考えているのか分からないので、長年アメリカに在住し、有力シンクタンクの研究員を務める加瀬みき先生に解説をお願いした。加瀬みき先生の御講話は、他方面からの分析で大層参考になった。その要旨を記すと、アメリカ国内では、年々、白人の人口が減ってきて、その人口が過半数を割る日も近い。また、今では教育程度が低く貧困な白人労働者も多く、アメリカに不満と混乱が起こっている。そうした階層がトランプ氏を支持している。そこで、トランプ氏は、外国からの鉄鋼やアルミニウムに高い関税をかけ、アメリカの炭鉱や製鉄業を復興して白人労働者に職を与え、また、自分の支持者である福音派キリスト教徒のため米大使館をエルサレムへ移した。また、オバマ嫌いのトランプ氏はオバマが進めたイラン核合意やTPPを破棄した。しかし、反対する大企業を引きつけるため、大企業への大減税も進めている等々、アメリカの国情を分析され大層勉強になった。(清原記)

▽ 当「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を調査研究し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のほかに、八つの部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出している。第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代会長は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣・現議院運営委員会理事が就任している。

▽ 事務局電話(03) 3581-1192 代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津